

官民ファンドの活用推進に関する関係閣僚会議幹事会（第14回）

概要

日 時： 令和3年9月10日（金）16：00～16：45

場 所： 官邸2階小ホール

出席者： 岡田 直樹 内閣官房副長官
和泉 洋人 内閣総理大臣補佐官
池田 弘 公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会会長(※)
翁 百合 株式会社日本総合研究所理事長
川村 雄介 一般社団法人グローバル政策研究所代表理事
木村 聡 内閣官房内閣審議官
石田 晋也 内閣府地域経済活性化支援機構担当室長
金子 正志 内閣府民間資金等活用事業推進室室長(※)
小林 涉 公正取引委員会経済取引局長(※)
井藤 英樹 金融庁総合政策局政策立案総括審議官(※)
馬場 竹次郎 総務省大臣官房地域力創造審議官(※)
田原 康生 総務省国際戦略局長(※)
小野 平八郎 財務省大臣官房総括審議官(※)
大津 俊哉 財務省理財局次長
伯井 美德 文部科学省高等教育局長
千原 由幸 文部科学省科学技術・学術政策局長(※)
長野 麻子 農林水産省大臣官房新事業・食料産業政策課長
三浦 章豪 経済産業省経済産業政策局審議官(※)
畠山 陽二郎 経済産業省商務・サービス審議官
飯田 健太 経済産業省中小企業庁事業環境部長(※)
大澤 一夫 国土交通省不動産・建設経済局審議官(※)
山上 範芳 国土交通省国際統括官(※)
白石 隆夫 環境省総合環境政策統括官グループ大臣官房審議官(※)

(※)オンライン出席

1. 官民ファンドの運営に係るガイドラインによる検証報告（第13回）案について
 - ・ 検証報告に関し、木村内閣官房内閣審議官から資料1に沿って、官民ファンドの活用状況や、新型コロナウイルス感染症のファンド業務への影響、官民ファンドによる投資人材の育成・供給状況等について説明。
 - ・ 「官民ファンドの運営に係るガイドライン」に基づき各官民ファンドが設定したKPI進捗状況について、令和3年3月期にマイルストーンが到来した

地域経済活性化支援機構、農林漁業成長産業化支援機構、官民イノベーションプログラムの各監督官庁またはファンドから個別に説明。

- ・ 海外需要開拓支援機構に関して、「新経済・財政再生計画改革工程表2020」を踏まえて改善計画を策定したその経緯と概要について、監督官庁から個別に説明。
2. 議題の内容について、意見交換を行った。有識者からの主な意見は以下のとおり。
- ・ コロナ禍の影響は大変大きく、一番傷んでいる地域・地方の中堅・中小企業に対してのしっかりとしたサポートが不可欠。官民ファンドにはエクイティ文化、市場文化を地域に広めるために、エクイティ投資を頑張ってもらいたい。それがアフターコロナのブースターになり得る。
 - ・ 経済安全保障について考えていかななくてはいけない。特に日本の研究開発分野や技術面が最近は国際的に劣後をしていると言われる中で、そういった分野に関連の深い官民ファンドにおいてはぜひ頑張っていたきたい。
 - ・ 官民ファンドの本来の趣旨は民間資金を如何に取り入れるかということ。ファンドの特性等に照らしつつも、呼び水効果が少ないファンドにおいては、その原因をよく検討し、今後の対応にぜひ役立てていただきたい。
 - ・ コロナ禍の影響を踏まえた企業の資金繰り対応、経済安全保障、ライフサイエンス等の競争力強化など、各種政策課題があって、各ファンドが頑張った結果、やっていることの重複が見られるのではないか。各ファンドのデマケーションがうまくいかないようなケースや重複してしまうケースの交通整理、検討、横申し機能が必要。
 - ・ 各ファンドの経費についてはしっかり見直していると思うし、経費に配慮することは不断に必要なことであるが、企業形態である以上、売上げが増えなければ絶対に利益が出てこない。売上げ、つまりは投資金額を増やすと同時に、各投資案件について今後はより採算性を精査していく必要があるのではないか。官民ファンドなので、本来の政策目的の達成のため、ペイシメントマネーで見ていくという趣旨自体は何ら変わることはないが、官民ファンド全般でいうと、発足して10年近くたってきているわけで、いつまでも先送りはできない。ファンドの採算性については、今後は十分に特段の配慮をしていただきたい。採算性に関するKPIとして、例えば各ファンドのバランスシートを過去から取って比較していくようなことも必要ではないか。いずれにしても、収益性、採算性について、KPIをもう少しきめ細かく見直していただきたい。

- ・ どのファンドもコロナ禍で非常に大きな影響を多かれ少なかれ受けているかと思う。例えば、DXなどは加速度的に進んでいる。コロナ禍前後で大きな社会変化が起こっているため、ファンドの支援先についてのビジネスモデルの変化をしっかりと見極めてモニタリングしていくことが非常に重要。海外への投資案件についても様々な課題が出てきているので、しっかりとモニタリングをしていただきたい。官民ファンド全体として見て、事業再生という視点で、必要な人材も投与しながらしっかりと支え、また見極めることが大事になってきている。ウィズコロナ、アフターコロナでのしっかりとした見直しの体制をつくって、今後の業務を推進していただきたい。
- ・ コロナ禍の影響でコスト構造に変化があり、多くのファンドにおいて実際に旅費を使わずにオンラインでモニタリングをすることや、リモートワークが増えているのではないかと思う。その中で、コストの見直しやこれまでのやり方をより効率的にしていくための気づきがあるのではないかと思うので、その点はしっかりと進めていただきたい。今回のコロナ禍で起こった働き方改革、リモートワーク、DXによるコスト構造はうまく活かして、よりしっかりと構造を見直していただくことが大事ではないかと思う。またコストに関連して、官民ファンド全体を見るとシステムや間接部門で、ファンド同士かなり重複が見受けられるので、もう少し効率的にできる工夫が何かできないか検討していただきたい。
- ・ 官民ファンドにとって人材育成はとても大事。官民ファンドでの業務経験後、民間に出て新しいエコシステムをつくっていくということにすごく価値があると考えている。官民ファンドに在籍している期間は、様々なノウハウを蓄積し、しっかりとやっていただきたい。また、アウトソーシングや地方銀行との連携等、官民ファンドへの出向での機会を通じて、人材をいかに育成していくかということは、官民ファンドの重要な使命だと思うので、是非取り組んでいただきたい。
- ・ A-FIVEに関しては、累積損失をできるだけ縮小していくということもそうだが、経費の削減についてもしっかりと取り組んでいただきたい。
- ・ 官民イノベーションプログラムに関しては、コロナ禍の影響による治験の遅延を受けて新規上場時期を見直した投資案件があった一方で、投資回収率は高いという報告があった。コロナ禍の影響による変化をしっかりと見ていただくと同時に、DXなどのイノベーションが必要な時期なので、どう新しい支援をしていくかという両面から見ていく必要がある。改革工程表に基づく累積損失解消のための数値目標・計画は策定しないということだが、今年から来年にかけての動きを注意深く見ていただきたい。
- ・ 海外需要開拓支援機構に関しては、国際的な投資展開をしており、国によ

っては色々と社会の変化が出てきている中で、ビジネスモデルの変化が出てきているのではないかと思う。これまでの既存案件についてもモニタリングが時代に即した形でできているか見ていただきたい。また、これからの案件についてもアフターコロナの状況をしっかりと踏まえた適切な投資が必要。

- ・ 官民ファンドの原資は公的資金であり、投資への成果を出さなければいけないという視点は当然のことだが、官民ファンドから人材が出てきた、地方に人材が流れ始めたのは素晴らしいことかと思う。地方では、リスクマネーを扱う人材を探すのが大変な状況で、圧倒的に少ない。官民ファンドの政策的目標として、人材育成を明確に入れていただきたい。今回の人材育成に関するアンケートについても、回答率が低いファンドもあるが、人材がどこに流れたのか、どういう活動をしているのかということ、是非引き続き追っていただきたい。
- ・ 官民ファンドの中で人材育成をすると、採算を考えると、どうしても人員削減等をする事になるので、人材育成のための別の予算を取ることを検討していただきたい。
- ・ 官民イノベーションプログラムに関しては、各大学の知見を出し、地方でリスクマネーを扱う、若しくは経験させることは素晴らしいことだと思う。採算が合わなかったとしても体験させることが人材育成であり、地方大学にもイノベーションファンドの創設を検討していただきたい。
- ・ A-FIVEに関して、失敗したから終わりということではなく、リスクマネーを扱った経験を活かして何らかの形で継続・チャレンジすることをやっていただきたい。
- ・ 社会の変化や構造の変化があるが、様々な視点を持ってその危機に対してどう対策を打つかが官民ファンドであり、またその危機に対応する能力のある人材をつくるのが官民ファンドの人材をつくるということであると思う。是非国の大きな目標の中に地方への投資、人材育成を立てていただくことを検討していただきたい。

有識者からの指摘等を踏まえ、引き続き幹事会で検討を行うこととし、検証報告の内容について、幹事会から了解が得られた。

3. 閉会

最後に、岡田内閣官房副長官から以下の発言があった。

- ・ 官民ファンドは、コロナ禍における企業の資金繰り支援等に加えて、ポス

トコロナを見据えた我が国経済の新たな成長シナリオを実現する上でも重要な役割を担っている。引き続き、政策ニーズを踏まえた効果的な活動に努めていただきたい。また、投資管理・リスク管理にも万全を期していただきたい。

- ・ 地方において成長力のあるビジネスを創出し、地域活性化に貢献する人材を育成・供給していくことは、活力ある地域経済を目指す政府の方針と合致するものであり、各ファンド及び監督官庁におかれては、取組の一層の深化をお願いしたい。
- ・ 公的資金を原資とする官民ファンドは、政策目的の実現とともに出資の毀損の回避も求められる。各ファンドは、政策的意義のある案件の組成に積極的に取り組みつつ、より効率的な組織運営に向けて不断の努力を行っていただきたい。
- ・ 同時に各監督官庁においても、今回の検証結果や有識者の皆様からのご指摘も踏まえ、官民ファンドの適切な監督に努めていただきたい。
- ・ コロナ禍の影響は大変大きいですが、東京から地方への人の流れが生まれたように負の側面だけではない。こうした機会を捉えて、人材育成・供給にも力を入れて官民ファンドが地域の活性化に寄与していくことを目指していきたい。